

吉武地区広報紙のあゆみ



試したて

特別号
(200号記念)

令和元年6月

発行元
吉武地区コミュニティ
運営協議会広報委員会
TEL (32) 5904
FAX (32) 5958

http://www.yos-hitake-cc.com

広報しんたて200号の発行
誠におめでとうございます。
これまで発行に関わってこ
られたすべての皆さまに対
しまして、深く敬意を表し
ますとともに、心から感謝
申し上げます。



(宗像市長 伊豆美沙子)

広報しんたては、コミュニティ活動のお知らせ
や報告など、地域の様子をきめ細やかに発信
され、吉武地区コミュニティのまちづくりの認
知度向上に大きく寄与していただいております。
今後も地域に根ざした広報紙として、地域の皆
さまに寄り添った、より充実した情報発信が行
われますことを心から願っております。

「しんたて200号発行」おめ
でとございます。日頃より
吉武地区の出来事と様々な情
報をわかりやすく発信してい
ただき毎回楽しみに拝読して
おりますと共に「コミセン」及び
地区役員の皆さまにおかれましては地域発展の
ため日頃よりご尽力頂いておりますことに改めて感
謝申し上げます。過去、私も広報担当者として
様々な活動や出来事の情報収集等に大変だった
ことや、環境部会長として彼岸花の植え付け事
業・ポイ捨て「ゴミ収集活動等を事業計画したこ
とが思い出されます。今後、吉武地区の益々の
発展を御祈念いたします。



(宗像市議会議員 神谷建二)

「しんたて」の創刊にあたって

「しんたて」創刊にあたって
あいのま吉武 新刊
しんたての創刊にあたって
あいのま吉武 新刊
しんたての創刊にあたって
あいのま吉武 新刊

「しんたて」の創刊にあたって

「しんたて」創刊にあたって
あいのま吉武 新刊
しんたての創刊にあたって
あいのま吉武 新刊

「しんたて」の創刊にあたって

「しんたて」創刊にあたって
あいのま吉武 新刊
しんたての創刊にあたって
あいのま吉武 新刊

「しんたて」の創刊にあたって

「しんたて」創刊にあたって
あいのま吉武 新刊
しんたての創刊にあたって
あいのま吉武 新刊

鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現

鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現
鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現
鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現

鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現

鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現
鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現
鐘の音響く 400年ぶり里帰り実現

【昭和60年1月号】 八所宮の釣鐘 蔵島神社から 400年ぶりに里帰り

「農村婦人の家」完成

「農村婦人の家」完成
「農村婦人の家」完成
「農村婦人の家」完成

「農村婦人の家」完成

「農村婦人の家」完成
「農村婦人の家」完成
「農村婦人の家」完成

【昭和60年5月号 「農村婦人の家」完成】

正助ふるさと村 オープン

正助ふるさと村 オープン
正助ふるさと村 オープン
正助ふるさと村 オープン

【平成4年4月 「正助ふるさと村」オープン】

株式会社正助ふるさと村発足式

株式会社正助ふるさと村発足式
株式会社正助ふるさと村発足式
株式会社正助ふるさと村発足式

【平成18年12月 「株式会社正助ふるさと村」発足】

コミセンの増改築工事が完了!

3月27日(土)に竣工披露式を行いました。



【平成16年4月号 コミセン増改築工事が完了】

【昭和57年2月 県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊】

県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊

県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊
県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊

県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊

県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊
県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊

県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊

県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊
県のモデル地区の指定を受け コミュニティ広報紙発刊

【平成14年11月 コミセンだより1号発刊】

吉武地区運営協議会の広報紙
「吉武しんたて」は、平成14年11
月に第1号を発刊し、本年5月
号で200号を迎えました。広報紙
200号を記念して特別号を発行致
します。吉武地区は、昭和56年
に県コミュニティ地区に指定さ
れ、その内容や地域情勢を住民
の皆さんに伝えるために広報紙
が発行されました。編集委員は、
当時の青少年育成会と事務局の
中から選出され、全員が未経験
でしたが、市コミュニティ課の
指導のもと、試行錯誤を重ねて
吉武地区に初の広報紙「コミュ
ニティしんたて」が誕生しまし
た。当時はパソコン・テジカメ
などは無く、手書きで原稿を作
り、写真も現像するまでにはうま
く撮れているかドキドキしたも

のです。印刷は、仕事の合間に
市役所へ行き、ひとりで輪転機
をまわしました。トラブルも多
く、大変苦労したことを思い出
します。地道に発行を続け10年
目、平成4年6月第38号で終刊
しました。その後平成14年6月
に吉武地区「コミュニティ運営協
議会」が設立され、11月に月間広
報紙「コミセンだより」が発刊さ
れ、平成24年6月「吉武しんた
て」を名前を変え現在に至って
います。今回の特別号の内容は、
吉武の「今」を伝えてきた広報紙
のなかでも、特に大きな出来事
を振り返りながら、懐かしさを
感じて頂ければと思っています。
(吉武地区「コミュニティ」
運営協議会)

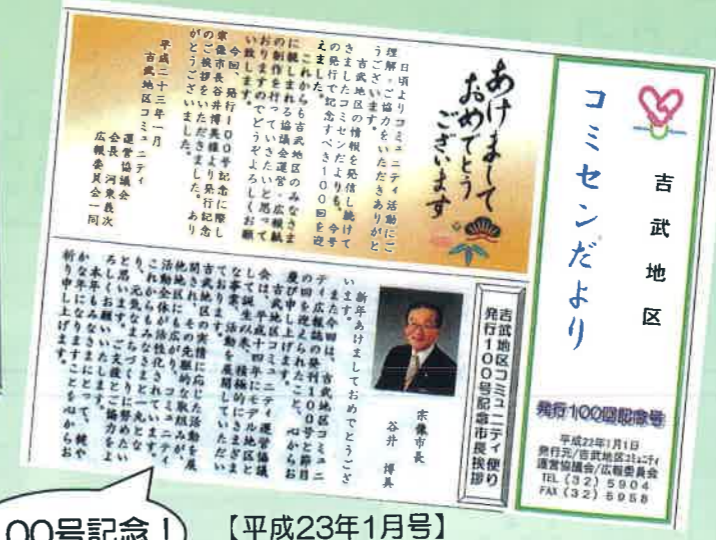
【平成24年6月号】



題名を「しんたて」とし紙面を一新



【平成21年11月】 コミバス試験運行開始



100号記念! 【平成23年1月号】



【平成24年8月号】

金海市(韓国)と宗像市の交流20周年記念事業
金海市児童10人が吉武地区でホームステイ



Yoshitake Community

【平成17年11月】
コミセンのシンボルマーク決定



【平成25年1月号】 コミュニティ運営協議会発足10周年記念



【平成26年4月】 コミュニティ運営協議会による
吉武小学校児童保育所スタート



【平成27年3月号】 吉武で発見!
日本最古のサイの化石22年ぶりの里帰り



【平成25年11月号】
八所宮の釣鐘
厳島神社へ返却



【平成28年5月号】 吉武小学校児童保育所新築



【平成29年1月号】
「寺子屋」事業
文部科学大臣より表彰!